

わたしたちは
確かなものづくりを通して
豊かな社会の実現に貢献します

目次	株主の皆様へ……………	1
	トピックス……………	2
	完成工事ハイライト……………	4
	第2四半期連結決算のご報告……………	5
	経営成績、事業別の営業の成果、損益の状況、財務の状況	
	連結貸借対照表要旨	
	連結損益計算書要旨、(参考)個別損益計算書要旨	
	連結キャッシュ・フロー計算書要旨	
	会社の概況……………	8
	商号、沿革、設立、営業種目	
	資本金、株式の状況	
	大株主の状況、株価の推移	
	取締役および監査役、執行役員	
	事業所	

株主の皆様へ



代表取締役社長
岩田 裕美

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
第115期（平成27年4月1日から平成28年3月31日）も第2四半期を終了いたしましたので、連結および単体決算を含め、会社の近況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策効果等により、景気は緩やかな回復基調が続きましたが、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっており、先行きは不透明な状況にありました。

建設業界におきましては、設備投資に持ち直しの動きがみられるものの、公共投資は総じて弱い動きとなっており、労務需給や原材料価格等の動向に注意を要するなど、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社および当社連結子会社（以下「当社グループ」といいます）は、各社が有する技術の優位性を活かした受注活動やアスファルト合材等の製品販売を強化するとともに、コスト削減や業務の効率化による収益力の向上に努めてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,660億31百万円（前年同四半期比8.4%減）となりました。利益につきましては、営業利益は127億61百万円（前年同四半期比4.4%減）、経常利益は136億20百万円（前年同四半期比5.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は84億51百万円（前年同四半期比7.1%減）となりました。

第3四半期以降の経営環境につきましては、雇用・所得環境の改善が続かなかで、各種政策の効果により回復に向かうことが期待されますが、中国をはじめとするアジア新興国等の景気の下振れなどが、景気を下押しするリスクとして懸念されます。

建設業界におきましては、民間設備投資は緩やかな持ち直しの動きがみられるものの、公共投資は弱い動きが続くことが見込まれ、さらに、今後も労務需給や原材料価格等の動向に注意を要するなど、依然として厳しい経営環境が続くことが予想されます。

このような環境の中、当社グループは、持てる技術力や機動力を発揮し、引き続き震災復興に全力で取り組むとともに、技術と経営に優れた企業集団として技術力の向上、営業力の強化、原材料価格上昇への適切な対応に努めるほか、生産性の向上とコスト削減を確実に進め、競争力の強化に取り組んでまいります。そして、舗装工事、土木工事、製品販売の収益基盤の一層の確立を進めるとともに、建築、開発、海外事業の事業収益の安定化に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年12月

株式会社 NIPPO

代表取締役社長 岩田裕美

トピックス

高速道路・幹線道路のメンテナンス対策に**新製品発売**

新製品 1 アスファルト舗装の**凹み**の緊急補修に**最適**

あなみちのうめ
凹道埋たろう

高速道路や幹線道路等の重交通道路では、トラックやコンテナ車、バスなどの大型車が絶え間なく通行しています。アスファルト舗装への負荷も相当かかっており、凹みや段差が生じて、車両の安全な通行に支障をきたし、重大事故の要因になることが懸念されます。

「**凹道埋たろう**」は、我が国で最初に常温合材を開発したNIPPOの最高グレードの製品です。



雨天時や湿潤状態でも舗装補修可能

当製品は、天候に左右されず簡単・迅速に施工でき、重交通道路にも十分な強度と高い耐久性を有するのが最大の特長です。袋を開けて凹みになりし、車のタイヤなどで軋圧するだけで路面の補修が行えます。

2014年11月の販売開始以来、高速道路各社や官公庁の道路担当部署、民間企業の設備管理部署等を中心に、売上が伸びています。



新製品 2 **コンクリート床版**の修復に優れた**接着性**を発揮

スマートボンド **スマートボンドJT**

高度経済成長期から50年以上を経た今日、当時構築された多くのインフラが老朽化し、社会問題になっています。道路においては、道路橋を通る車両の荷重を直接支えるコンクリート床版が疲労損傷し、塩害、凍害等の影響もあり急速に劣化が進行しています。

その補修・補強工法として、劣化した部分を新しいコンクリートに置換える「断面修復工法」や既存コンクリート床版の上に継ぎ足す「床版上面増厚工法」が増えています。

当社は、コンクリート床版の断面修復や床版増厚の際、新しいコンクリートとの接合部に用いる高耐久エポキシ樹脂接着剤「**スマートボンド**」、「**スマートボンドJT**」を開発しました。鋼床版やコンクリート床版の接着に優れることはもちろん、湿潤面でも浮き水を拭き取れば塗布でき、刷毛やローラーで簡単に施工可能できるなど施工性にも優れていることから、補修の新製品として高く注目されています。



断面修復工法での使用状況

坂道のすべり止めや冬期路面の凍結防止に効果

グリップサーフ

冬期の路面凍結や雨天時の坂道、一時停止部でのスリップ事故は、未だに全国各地で頻発しています。

当社では、舗装の表面に格子状のテンプレート押し込んで路面に溝を設けた、新しい交通安全対策工法「グリップサーフ」を開発しました。溝の効果により、雨天時や冬期における道路の車両走行安全性を向上させることができます。

「グリップサーフ」は交通事故減少の一助になると期待されています。



福岡県内での施工例（左側車線）

グリップサーフの主な特長

- 車両走行安全性の向上（排水機能）
- 雨天時のすべり抵抗性が向上
- 水しぶきが緩和され視認性が向上
- 凍結防止剤の効果が持続（貯留機能）
- 専用の路面ヒーターの使用により既設アスファルト舗装にも設置可能



水しぶきが緩和され視認性が向上

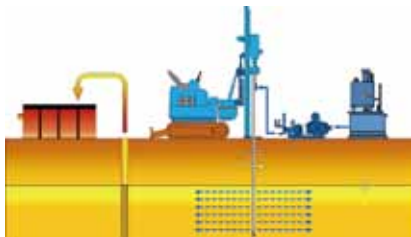
汚染した土壌や地下水を剥離・分解やオゾンで浄化

小型注入機による原位置洗浄工法

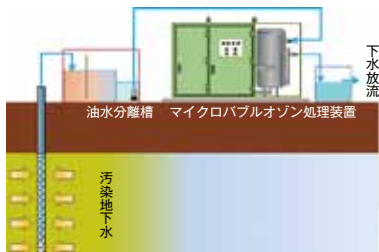
マイクロバブルオゾン水処理工法

汚染された土壌や地下水は、人々の健康に直接害がおよぼおそれがあり、次世代まで対応が必要となりかねない問題です。当社では、年間150件から200件の土壌調査、汚染土壌対策工事を実施しています。調査・分析から評価、措置計画、措置まで、そして浄化後の定期的なモニタリングに至る一貫したシステムサービスを提供できることも強みの1つです。

今年、当社独自の浄化技術のラインナップに、「小型注入機による原位置洗浄工法」と「マイクロバブルオゾン水処理工法」が加わりました。今後も多彩な浄化技術を通じて、よりよい地球環境の保全に努めてまいります。



土壌の汚染物質を剥離や分解により浄化する「小型注入機による原位置洗浄工法」



「マイクロバブルオゾン水処理工法」は、揚水した汚染地下水をマイクロバブルオゾンで浄化

完成工事ハイライト



- 国土交通省 北陸地方整備局
大和川・押上道路工事
【新潟県】

- 国土交通省 近畿地方整備局
近畿自動車道紀勢線
見老津第二トンネル
コンクリート舗装工事
【和歌山県】



- 松本市
(仮称) 松本市美鈴湖
自転車競技場建設工事
【長野県】

- 防衛省 中国四国防衛局
岩国飛行場 (H25)
立体駐車場 (集会施設)
新設建築その他工事
【山口県】

